

セラピストマネジャーコース(第8期)の グループワーク資料

Group 1

2 ADLの獲得に向けて 適切な器具・車椅子・福祉用具を導入しよう。

課題：車いすの数^{や歩行器}が足りない

- ・コスト
- ・保管場所
- ・点検の問題 など……

提案：・自宅退院が決まっている
・介護保険を取得。(CMいる)

↓
福祉用具業者と提携し、
患者様に合わせた車いす(歩行器など)を
入院中から導入

↓ このシステムを……
構築するためには……
いつ：半年後までに

誰が：セラマホが

4 遅出・早出に関して

課題：朝・夕のADLの把握が不十分

提案：・遅出・早出のリハの役割を明確に。
・病棟スタッフに遅出・早出の理解を促す
→遅出・早出を導入する

いつ：半年くらい(病棟スタッフに対する
勉強会を行う)

誰が：セラマホ・科長

実行 → リハ全スタッフ

何を：訓練として遅出・早出が
行える(単位をとる)

2. 記録や情報伝達は他職が
理解できる内容、言葉の表現はよう

<課題>

- ・略語、変語が多用される。
- ・誤字、読めない字がある。
- ・職種ごとに、分かれている。

<提案>

- ・直ぐ、毎日、声かけ4コマ。
- ・他職種に4コマしてもらおう。
- ・

2グループ

10. 教育体制を充実し、質の高い
サービスを提供しよう。

<課題>

- ・2年目以降の教育体制

<提案>

- ・業務、回線割り、職種別の
チェックリスト、リーダーシステム作成

↓
「我々」

↓
「直ぐ」

9. 適正なリハサービス向上のために、 データの蓄積・検証に努めよう

3

問題点 データを収集しているが活かせていない

目的が不明確

欠損データがある

負担感がある

目的が不明確

欠損データがある

負担感がある

目的が不明確

欠損データがある

- ① 目的が不明確 (十分理解できていない)
- ② 欠損データがある
- ③ 負担感がある

〈行動計画〉 私たちが明日からできること

- ・ 一般職に向けて勉強会を通じて成果を伝える
- ・ 昨年の実績を報告する
- ・ データの分類をする(必要な情報を選定する)

7. 退院に向けての環境調査は...

課題: 退院後の追跡調査が不十分で

成果が不明 ⇨ 対策

退院後
2~3ヶ月で担当者が
調査票を郵送する

4

3. 疾病リスクと...

課題: 事故状況や対策が十分に周知されていない

対策 対策が慣れた翌朝までに周知し、担当者が伝え、
~~対策について~~ 実行されているかリーダーが確認する

9. 適正なリハサービスの向上...

課題: データの共有活用が不十分

対策 管理者は収集したデータを分析したものを月に1回
職員に対し発表する。

目標・目的の共有

⑤

データ管理

データ収集の目的を入職直後より
リハスタッフに説明

職員教育

1~2年目に新人教育カリキュラム←管理職

1~2年目の指導係(5~6年目)

5~6年目に対しては、定年退職者

ADLの再建

リハとナースの管理職が意識統一の
話し合い
期間を決めて進める

10. 教育体制

新人のリハの進行状況
の確認。

管理者(リーダー・主任)が
2週間に1度、評価と目標
の振り返りをしていく。

8. 情報伝達

カルテの書き方の工夫

ADLの変化や家族との話の
内容等があった時に、
紙カルテに色枠を付ける。

9. データ管理

リハのサービスの見直し

毎月、FIM利得の点数を
提示してセラピストに意識付ける。
管理者が提示して、各セラピストに
個別に伝える。

第6条

① 家族等のケア場面の観察・評価が不十分
⇒ 入院早期から看護・リハが家族と関わり、チェック
リストを利用

第2条

安全点検が行われていない

⇒ 点検係を物品ごとに決め、使用前にチェック
リストで確認

第8条

情報伝達を行える工夫が不十分

① 略語が使われている ② リハと病棟のカル
テが別 ⇒ わかりやすい言葉で、リハでの
様子をリアルタイムで伝えていく

1. 心身機能の
改善を図ろう

4. 生活場面でのADL向上
を促進しよう

10. 教育体制を充実し、質の高い
サービスを提供しよう

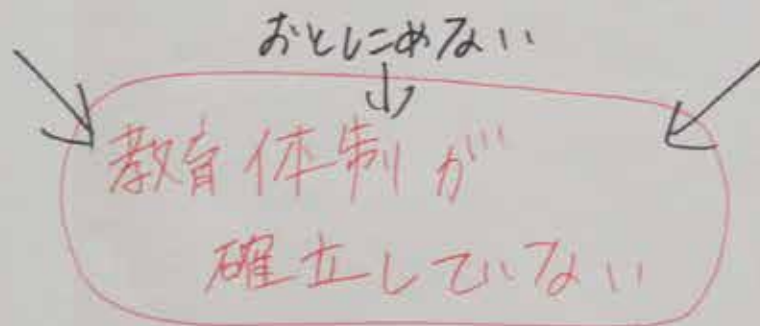
問題点

サービスによって差がある
(知識、技術、行動)

・ 病棟との共有ができておらず
一方向的なている。

・ ADLを「している」に
おとにちなみ

勉強会はあるけど、
体系化されていない



8

解決策

・ 経験年数に合わせてチェックリストを作成



得意分野やリーダーなど役割を決めチェック

勉強会の年間
スケジュールとテーマを決める

4. 生活場面でのADL向上を 推進しよう

□ 患者のADL能力を看護師等と共有している

問題点

双方の情報共有が不十分になっている



できるADLとしたいADLの乖離

提案

○ 能力が向上した時 リハ場面を看護師等に見せよう

○ FIMが上がった時 1週間1回
合同での評価を行う

6 病棟や在宅で 9 介護を担う家族や介護者と共に ケア方法を検討しよう。

□ 家族等とケア場面を観察評価している

問題点

家族と会う機会が設けられていない

↳ スタッフからの働きかけ不足
(ENT後の生活をイメージ提供できない)

提案

○ 入院一週間以内に家屋写真を持って来て
頂く

○ 一週間後のカンファレンスで写真について話し合う

○ 宿泊を含めた介護指導 (セラピスト、病棟スタッフ)

10.

課題：中間層の教育体制の構築について。

提案：キャリアラダーを用いて

年に2回、管理者が面談する。



6月 (1回目)：年度初めに自己目標の設定。
管理者は、目標が適切かを評価。

3月 (2回目)：年度末に振り返り。

(その他)

・ Point 制 (上位5名は……)

・ スキルアップ研修の年間スケジュールの作成

4.

今回の石井修会が終了したら

わたし達が

8.

他部署と合同の勉強会を企画する。

(グル-ワーク)

* 業務時間内 or 残業代を出す。

10.

二の石井修会の期間中

わたし達が

各病院の人達と情報交換をし、自分の施設に
合った対策を考える。

10

11

	1. 科学的根拠を参考に しながら治療も行えていない	4. 早出、遅出が マンパワーになっている	5. カンファレンスの情報 が事前収集できていない
いつ	・ 月1回	事前に	カンファレンスの3日前に
誰が	・ 役職・リーダー が入った グループ	・ リハビリストスタッフ	各担当者
何を する	・ 治療方針や 方向性、 現状の確認	・ 介入する患者を明確 にする ・ 介入するポイントと明確 にする	・ 計画書に入力 ・ カンファレンス前 に確認

4 朝・夕のADL
把握と介入

システム作製

① 単位取得型

② ケア介入型

朝・夕のADLの時間に

現場ソハスタッフが

介入する

8 記録の記載
方法統一(SOAP)

① 要点のとりきめ

② SOAP勉強会
(教育係)

10 教育体制の整備

① 新人

新人教育プログラム
に沿う

② 中堅

職能等級制度

導入

4. 生活場面でのADL向上

- 病棟での訓練時間を設定

例) 3単位のうち1単位

Nsにも来てもらう

毎週土曜日はR1室NG!

3年ウ以上はプラントホムNG!

- 目標を1週間ごとにボードサイドに
提示!

6. ケア方法の伝達共有

- タブレットを使って動画で共有

院内
↑
◦ デモを若手セラピスト、Nsに行ってもらおう。

外
↓
◦ ENT後に追跡調査。
(訪問して介助指導)

10. 教育体制

13 班

- 専門職ごとの教育プログラムを作成
(5年以内に履習→新卒的)
(エチュープにup)

- 他職種ケーススタディー
Ns. PH. MSN. CN

- リンセッション
プログラムを11回相談
4人で歩行ex
複数セラピストと検討会

14班

3.

医療安全

6.

ケアの検討

10.

職員教育

現状

感染予防マニュアルはあるが
共有されていない
→ 人事と思っている
スタッフがいる？

家族指導が後手になっ
ているケースがある
→ 特に1~2年目の
リハスタッフ

経年もしくは能力に
そった教育システムが
計画されていない

いつ

10月中

カンファレンス毎

10月中

誰が

委員会メンバー

チームリーダー

教育メンバー

何を
する

マニュアルに沿った
模擬訓練を
リハ科内に
実施する

スタッフとカレンジャーを
使用し、家族指導
計画を作成する

システムの確立に
向けた話し合いを
教育メンバーと行う

グループ 15

課題	いつ いつまでに	誰が	何をする
車椅子などの 必要な物品が 適切に導入出来ない	現場で必要 と判断した 時	私 (管理者・リーダー)	データや根拠をベースにした 資料を作成し稟議書を提出
早朝・夕方の 生活状況が 直接評価出来ない	9月中旬に	私	朝・夕に病棟に行って 現状を評価する
専門用語や 略語が多く 内容が分かり難い	第2クール 終了までに	自分が管理 している部署 のスタッフ	略語を使わない

活動度を把握し

日課の計画・支援が「不十分」



「モーニングケア、イブニングケアが「不十分」
(リハ) (リハ)」



目的・方法の具体化(職種ゴール達成のために)

「できる」を「している」ADLにするためのFIM向上

- ① 対象者の選定 ex) 軽介助 → 監視・修正
- ② 介入の注意点の共有 (申し送り表で可視化)
- ③ エクセル管理 担当者から随時更新・保nche
- ④ カンファレンス で再評価

16G